

平成16年度 新宿区普通会計決算について

概 要

実質的な収支（実質単年度収支）は、5年連続で黒字

新宿区の平成16年度普通会計決算は、歳入総額が1,054億1千7百万円、歳出総額が1,008億1千百万円で、形式収支は46億6百万円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源が6億4百万円で、実質収支は40億2百万円の黒字となった。

また、単年度収支は11億5千3百万円の黒字で、これに財政調整基金の積立金を加え、同基金の取崩し額を差し引いた、実質的な収支（実質単年度収支）は、25億7千9百万円の黒字となり、平成12年度以降5年連続の黒字となった。

実質の決算規模は、対前年度比、歳入3.4%・歳出1.8%の増

平成16年度の決算額は、前年度に比較して、歳入3億5千6百万円(0.3%)の減、歳出20億1千百万円(2.0%)の減となった。

これは、15年度決算が基金の再編（区民センター建設基金、高齢者福祉施設建設基金及び都市整備基金を統合し、社会資本等整備基金として再編）分の歳入（繰入金）歳出（積立金）37億7千9百万円を含むためであり、これを除いた実質の決算規模の比較では、歳入が34億2千3百万円(3.4%)の増で、歳出が17億6千8百万円(1.8%)の増となる。

第1表 決算収支 (単位：百万円、%)

区 分	平成16年度	平成15年度	増減額	増減率
歳 入 総 額 A	105,417	105,773	356	0.3
		* 101,994	3,423	3.4
歳 出 総 額 B	100,811	102,822	2,011	2.0
		* 99,043	1,768	1.8
形 式 収 支 C=A-B	4,606	2,951	1,655	56.1
翌年度に繰り越すべき財源 D	604	102	-	-
実 質 収 支 E=C-D	4,002	2,849	1,153	40.5
単 年 度 収 支 F(Eの増減)	1,153	153		
積 立 金 G	1,427	1,503	76	5.1
積立金取崩し額 H	0	0	-	-
実質単年度収支 I=F+G-H	2,579	1,350		

* 桃色の数値は基金再編分を除く

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

主な特徴

1 歳入

一般財源は、28億5千7百万円(4.1%)の増

地方消費税交付金の9億4千9百万円の増、財政調整交付金の8億5千5百万円の増などにより、全体では28億5千7百万円(4.1%)の増となった。

特定財源は、実質5億6千6百万円(1.7%)の増

基金再編分（15年度の繰入金37億7千9百万円）を除く実質の対前年度比較では、繰入金の11億6千8百万円の減などがあるものの、財産収入の9億6千5百万円の増、国庫支出金の8億8千9百万円の増などにより、全体で5億6千6百万円(1.7%)の増となった。

第2表 歳入（基金再編分を除く実質） (単位：百万円、%)

区 分	平成16年度		平成15年度		増減額	増減率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
特 別 区 税	35,438	33.6	35,153	34.5	285	0.8
地 方 譲 与 税	1,140	1.1	619	0.6	521	84.2
地方消費税交付金	8,552	8.1	7,603	7.5	949	12.5
地方特例交付金	2,704	2.6	2,595	2.5	109	4.2
財政調整交付金	22,346	21.2	21,491	21.1	855	4.0
その他の一般財源	1,632	1.5	1,495	1.5	137	9.2
一 般 財 源 計	71,812	68.1	68,955	67.6	2,857	4.1
分担金・負担金	1,312	1.2	1,299	1.3	13	1.0
使用料・手数料	4,400	4.2	4,350	4.3	50	1.1
国庫支出金	14,720	14.0	13,831	13.6	889	6.4
都 支 出 金	5,009	4.8	5,378	5.3	369	6.9
財 産 収 入	1,624	1.5	659	0.6	965	146.4
繰 入 金	8	0.0	1,176	1.2	1,168	99.3
諸 収 入	2,494	2.4	2,227	2.2	267	12.0
地 方 債	1,021	1.0	1,026	1.0	5	0.5
その他の特定財源	3,018	2.9	3,092	3.0	74	2.4
特 定 財 源 計	33,605	31.9	33,039	32.4	566	1.7
合 計	105,417	100	101,994	100	3,423	3.4

* 桃色の数値は基金再編分を除く

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

16年度の地方譲与税は新規増の所得譲与税4億8千万円を含む
16年度のその他の一般財源は新規増の配当交付金1億5千万円及び株式等譲渡所得交付金1億5千7百万円を含む

2 歳出

(1) 性質別

義務的経費は、2千3百万円(0.04%)の減

人件費が、職員給の9億3百万円の減などにより、6億5千8百万円(2.2%)の減、公債費が元利償還金の減により、9億7千7百万円(15.6%)の減となったことから、扶助費が、生活保護費の8億6千7百万円の増、障害者居宅生活支援費の2億3千7百万円の増、保育所への保育委託の2億1千8百万円の増などにより、16億1千2百万円(7.2%)の増となったものの、義務的経費全体では2千3百万円(0.04%)の減となった。

投資的経費は、7千9百万円(1.8%)の増

補助事業費が、市街地再開発事業助成の3億5千7百万円の増などにより、4億4千2百万円(166.8%)の増となったことから、単独事業費が、牛込保健センター敷地取得の3億9千9百万円の終了皆減などにより、3億6千2百万円(8.8%)の減となったものの、投資的経費全体では、7千9百万円(1.8%)の増となった。

その他経費は、実質17億1千2百万円(4.7%)の増

その他経費は、基金再編分(15年度の積立金37億7千9百万円)を除く実質では、積立金の9億1千5百万円(29.2%)の増、繰出金の3億8千2百万円(4.2%)の増、補助費等の2億4千6百万円(5.2%)の増、維持補修費の1億5千6百万円(11.8%)の増などにより、全体では17億1千2百万円(4.7%)の増となった。

(2) 目的別

民生費、土木費、教育費などは増

民生費は、老人保健施設建設等事業助成の3億3百万円の減などがあるものの、生活保護費等扶助費の16億3千4百万円の増などにより、11億4千9百万円(2.7%)の増、土木費は、市街地再開発事業助成の3億5千7百万円の増などにより、3億9千9百万円(5.8%)の増、教育費は、義務教育施設整備基金積立金の12億7千8百万円の増や小学校普通教室等の空調化3億9千万円の増などにより、17億7千4百万円(15.0%)の増となった。

衛生費、公債費などは減

衛生費は、牛込保健センター敷地取得の3億9千9百万円の終了皆減や清掃人件費の1億7千百万円の減などにより、8億3百万円(6.0%)の減、公債費は、元利償還金の9億7千7百万円の減により、9億7千9百万円(15.6%)の減となった。

第3表 性質別歳出(基金再編分を除く実質)

(単位:百万円、%)

区 分	平成16年度		平成15年度		増減額	増減率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
義務的経費	58,540	58.1	58,563	59.1	23	0.0
人件費	29,187	29.0	29,845	30.1	658	2.2
扶助費	24,062	23.9	22,450	22.7	1,612	7.2
公債費	5,291	5.2	6,268	6.3	977	15.6
投資的経費	4,478	4.4	4,399	4.4	79	1.8
補助事業費	707	0.7	265	0.3	442	166.8
単独事業費	3,771	3.7	4,133	4.2	362	8.8
その他経費	37,794	37.5	36,082	36.4	1,712	4.7
物件費	16,628	16.5	16,613	16.8	15	0.1
維持補修費	1,479	1.5	1,323	1.3	156	11.8
補助費等	4,942	4.9	4,696	4.7	246	5.2
積立金	4,044	4.0	3,129	3.2	915	29.2
投資・出資金	0	0.0	0	0.0	-	-
貸付金	1,264	1.3	1,266	1.3	2	0.2
繰出金	9,437	9.4	9,055	9.1	382	4.2
合 計	100,811	100	99,043	100	1,768	1.8

* 桃色の数値は基金再編分を除く

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため合計等が合わないことがあります

第4表 目的別歳出(基金再編分を除く実質)

(単位:百万円、%)

区 分	平成16年度		平成15年度		増減額	増減率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
議会費	693	0.7	704	0.7	11	1.6
総務費	15,430	15.3	15,369	15.5	61	0.4
民生費	43,335	43.0	42,186	42.6	1,149	2.7
衛生費	12,612	12.5	13,415	13.5	803	6.0
労働費	478	0.5	347	0.4	131	37.8
商工費	1,707	1.7	1,697	1.7	10	0.6
土木費	7,301	7.2	6,902	7.0	399	5.8
消防費	377	0.4	341	0.3	36	10.6
教育費	13,585	13.5	11,811	11.9	1,774	15.0
公債費	5,294	5.3	6,273	6.3	979	15.6
合 計	100,811	100	99,043	100	1,768	1.8

* 桃色の数値は基金再編分を除く

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため合計等が合わないことがあります

財政指標

実質収支比率は、5.7% - 1.5ポイント増 -

標準財政規模に対する実質収支額の割合で示される実質収支比率は、分母である標準財政規模が21億3百万円(3.1%)の増となったものの、分子である実質収支額が11億5千3百万円(40.5%)の増となったことにより、前年度を1.5ポイント上回る5.7%となった。

第5表 実質収支比率

(単位：百万円、%)

区 分	平成16年度	平成15年度	増 減
実 質 収 支 額 A	4,002	2,849	1,153
標 準 財 政 規 模 B	70,613	68,510	2,103
実 質 収 支 比 率 C = A / B	5.7	4.2	1.5

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

経常収支比率は、81.3% - 1.6ポイント減 -

財政の弾力性を示す総合的指標である経常収支比率は、分子である経常経費充当一般源等が、扶助費や補助費等の増などにより、11億9千2百万円(2.0%)の増となったものの、分母である歳入経常一般財源等(減税補てん債等を含む)が、地方消費税交付金や財政調整交付金の増などにより、28億6千7百万円(4.1%)の増となったことから、前年度を1.6ポイント下回る81.3%となった。

前年度は23区中、高い方から12番目の数値であったが、今年度も12番目となった。

第6表 経常収支比率

(単位：百万円、%)

区 分	平成16年度	平成15年度	増 減
経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等 A	59,591	58,399	1,192
歳入経常一般財源等(減税補てん債等を含む) B	73,284	70,417	2,867
歳入経常一般財源等(減税補てん債等を除く) C	72,281	69,417	2,864
経常収支比率(減税補てん債等を含む) D = A / B	81.3	82.9	1.6
経常収支比率(減税補てん債等を除く) E = A / C	82.4	84.1	1.7

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

公債費比率は、6.7% - 1.2ポイント減 -

財政規模に対する公債費支出の割合で示される公債費比率は、分母(標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えた数値)が、8億8千2百万円(1.1%)の減となったものの、分子である公債費充当一般財源等が、9億7千7百万円(15.6%)の減となったことから、前年度を1.2ポイント下回る6.7%となった。

第7表 公債費比率

(単位：百万円、%)

区 分	平成16年度	平成15年度	増 減
公 債 費 充 当 一 般 財 源 等 A	5,291	6,268	977
標 準 財 政 規 模 B	70,613	68,510	2,103
臨 時 財 政 対 策 債 発 行 可 能 額 C	7,881	10,866	2,985
標 準 財 政 規 模 + 臨 時 財 政 対 策 債 発 行 可 能 額 D = B + C	78,494	79,375	882
公 債 費 比 率 E = A / D	6.7	7.9	1.2

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

地方債現在高

地方債現在高は、362億9千6百万円 - 31億5千万円減 -

地方債現在高は、平成15年度末の394億4千6百万円から31億5千万円減少し、362億9千6百万円となった。

第8表 地方債現在高

(単位：百万円)

平成15年度末現在高 A	平成16年度発行額 B	平成16年度元金償還額 C	平成16年度末現在高 D=A+B-C
39,446	1,021	4,170	36,296

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

積立金(基金)現在高

積立金現在高は、350億8千万円 - 40億3千7百万円増 -

積立金現在高は、平成15年度末の310億4千3百万円から40億3千7百万円増加し、350億8千万円となった。

第9表 積立金(基金)現在高

(単位：百万円)

平成15年度末現在高 A	平成16年度積立額 B	平成16年度取崩額 C	平成16年度末現在高 D=A+B-C
31,043	4,044	8	35,080

区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります